



八女市立星野小学校 学校通信 平成 29 年 6 月 26 日

星のっ子だより (文責 吉田)

たくましく生き抜く力を持った星のっ子を

まず、右の写真をご覧ください。何の写真かお分かりでしょうか？実はこの写真は学校のすぐ北側の橋（じゅうごもり橋）の下方 10 m ぐらいの所にある梅の木の写真です。皆さんこの梅の木のことはご存じでしょうか？分かりづらいかもありませんが、実はこの梅の木、幹が折れ、つながっているのはほんのわずかな部分のみです。おそらく、台風か 24 年 7 月の九州北部豪雨で倒れたものだと想像されます。そのわずかな生きている幹が栄養を送り出し、今なお花を咲かせ実をならせているのです。その生命力には驚かされます。これこそが、生きる力だと思います。

子どもたちが、生きる時代は今にもまして大変な時代になることが予想されます。この梅の木は見て、どんな困難が押し寄せてきても、たくましく生き抜く力を子どもたちに身につけさせたいと思った次第です。

みなさんも、学校にお寄りの際など、この梅の木をご覧になってこの梅の木のことを話題にしながら将来のことでもお話しされたいかがでしょうか？きっと、有意義な話ができると思います。



5年生 棚田の田植えをしました

本日 6 月 26 日（月）に 5 年生が広内の棚田で NPO 法人がんばりよるよ星野村のみなさん（代表 山口聖一様）等の指導を受けながら田植えを行いました。

幸い天気に恵まれ曇りでの田植えとなりよかったです。今年は、棚田に下の方の田 2 枚の田植えをさせていただきました。

日本は瑞穂の国、1 粒の米から約千粒ほどの米ができるということを学級委員長森松さんから教えていただきました。日本人は、昔から米を栽培し生きながらえてきたことを思うと田植えの意味も変わってきます。その命を支える米を増産しようと星野村の先祖のみなさんがそれこそ、命を削って、築きあげられた星野の誇りの棚田です。子どもたちもはりきって田植えを行いました。きっと子どもたちにとってこの棚田で田植えをしたことは思い出として残り、生きていく上でのバックボーンになるのではないのでしょうか。

当日は、山口様はじめ PTA 理事、5 年生の保護者の皆様にもお忙しい中ご協力いただきありがとうございました。



プール開き(6月15日)